

一宮町長
馬淵 昌也

近年、外国人旅行者の来日人数が増えています。2017年には2870万人が来日しました。政府は2020年には4000万人に増やしたいとしています。

わたくしは、これからの日本にとって、外国人相手の観光業は、大きな産業になると思います。日本は、人口減が始まっており、高齢化率が上がっています。観光業こそ、人口が減り、高齢者の比率が上がった日本でも成り立つ産業です。観光では、物販でもギフトでも、高齢者も就業できますし、ときにはその熟練した境地こそ人気者として大歓迎されます。年配の方々の柔らかな笑顔と暖かいおもてなしは、観光の魅力のひとつです。

しかも、国内は人口減で需要の拡大が望めないとなれば、外国人の方々の

来訪を期待するのは、自然な流れです。言葉の壁はありますが、日本の自然・文化は世界でも独特な部分が多くあり、外国の方々にも大変好評です。

一宮町でも、外国人を対象とした観光は、滞在型・体験型に重きをおいた形で展開できれば、産業として大きく発展する可能性があると思います。東京から鉄道で1時間余なのに海も山も農地もある「田舎」の一宮で、日本の文化や暮らしの各側面を体験するツアーなどは、大いに人気が出る可能性があります。羽田も成田も1時間余と、空港も近いです。オリンピックの開催で町の知名度が上がるチャンスを生かしつつ、外国人の旅行者の方々から町に潤いを頂く体制を確立すること、これこそ今後の町の中期的目標としてゆべきだと、わたくしは思っています。